

ものづくり博 2016 in 東三河

日時：2016年6月17日（金）～6月18日（土） 10:00～17:00

会場：豊橋市総合体育館

豊橋技術科学大学は、6月17日（金）～6月18日（土）に豊橋市総合体育館で開催された「ものづくり博2016 in 東三河（主催：豊橋ものづくり振興会）」に協賛しました。当センターは大学出展ブースにおいて、センターの研究紹介ポスターの展示と、大平孝研究室、三浦純研究室それぞれが進める研究について、デモ展示を通じてご紹介しました。また、今回、豊橋技術科学大学では創立40周年として公開講座を行い、大平 孝センター長が講座を開講しました。

大平研究室は、「未来電気バスシステムのジオラマ」のデモ展示を実施しました。電気バスシステムとは、電化された道路にバッテリーの入っていない電気バスを走らせる技術です。このジオラマは、豊橋市内を循環する電気バスシステムをイメージして作成しました。今回は「未来電気バスシステムのジオラマ」だけではなく、「周回コースを走るミニ四駆」のデモも行いました。電池の入っていない車＜電気バス＞が電化された道路を走る姿に、ご来場いただいた皆様は驚きのご様子でした。

三浦研究室は、「人物検出・追跡システム」のデモ展示を実施しました。人物検出・追跡システムとは、カメラと距離センサを用いて歩行中の人物などを検出・追跡する技術です。市街地での自動走行において、歩行者や自転車を確実に検出し危険を回避することは重要です。三浦研究室では、この技術を車の自動運転や付き添いロボットに応用する研究を進めています。今回は、人物検出・追跡システムを用いて、来場者の上体の向きから移動方向を推測する様子を画面に映し出してご覧頂きました。また、付き添いロボットのデモも実施しました。自分の動く方向についてくるかわいいロボットの姿に、デモを体験した子どもは嬉しそうな表情を浮かべていました。

（*自動運転に関する研究：未来ビークルシティリサーチセンター

*付き添いロボットに関する研究：人間・ロボット共生リサーチセンター）

公開講座では、大平センター長が「石炭、石油、電池に続く第4世代の未来ビークル」と題して、講義しました。この講義には30名近くの方にご参加いただきました。講義終了後には活発な質疑応答もなされ、講義は盛況の内に終了しました。

展示の様子



■センター紹介ポスターの展示



■未来電気バスシステムのジオラマ



■人物検出・追跡システム



■豊橋技術科学大学創立40周年 公開講座